

教 員 の 業 績				
職 名		准教授	学 位	商学修士(明治学院大学)
氏 名	カ ナ	ドイ ミツル	役 職 名	
	漢 字	土井 充		
1. プロフィール	明治学院大学学士			
	明治学院大学大学院博士後期課程単位取得退学			
	東京富士大学就職支援課主任、自己点検推進部副部長等歴任			
2. 主な担当科目	会計学I・II、財務会計論研究I・II			
	プレ専門演習I、専門演習I・II、演習I・II(財務会計)			
3. 専門分野	財務会計論			
4. 主な研究テーマ	計算構造論			
5. 主な研究業績	著書	『複式簿記－根本原則の研究－』(瀧田輝己編著、第2章「複式簿記システムの単純化モデルに内在する固有の機能」、31頁-60頁)、2007年、白桃書房(共著)		
		『会計の世界』(松本公文編著、第3章「国際会計」、43頁-58頁)、2005年 白桃書房(共著)		
		『簿記3級検定対策・テキスト』(佐藤康廣編著、「第15章試算表の作成、第16章 決算(その3)、第17章決算(その4)」、69頁-86頁)、2000年、日本エデュケーションセンター(共著)		
		『簿記3級検定対策・問題集』(佐藤康廣編著、「第16章試算表の作成、第17章精算表(1)(全経)、第18章精算表(2)(日商)」、58頁-82頁)、2000年、日本エデュケーションセンター(共著)		
	論文	「複式簿記の本質的機能－構文論的分析を手がかりとして－」『日本簿記学会第21回全国大会(簿記理論研究部会最終報告)』、2006年		
		「会計システムの本質的機能に基づく会計職能の類型化」『三田商学研究』(第47巻、第1号)、2004年		
		「財産法・損益法とFASB資産負債アプローチ・収益費用アプローチとの異同」『会計史』(18号)、2000年		
	その他の研究活動	(東京富士大学共同研究「生態系と経済活動の関係の考察」)「都心近郊の里山保全の取り組みに関する調査－横沢入里山保全地区と飯能・西武の森を中心にして－」、『富士論叢』(第60巻第1号)、2015年		
		(東京富士大学共同研究)『「会計」を身近にするキーワード事典』(松本公文・岩田康成編著、「V 国際会計基準」、194頁-219頁)、2007年、日本経済新聞出版社(共著)		
		「コンピテンシーを用いた演習教育評価」(口頭発表、共著)、産業・組織心理学会第22回大会 2006年9月		
		(東京富士大学共同研究「多目的ビジネス・ゲームの開発」)「多目的ビジネス・ゲームの開発」、『富士論叢』(第48巻第1号)、2003年		
		『現代会計用語辞典』(興津裕康・大矢知浩司編著、「貨幣性資産」「貸借対照表完全性の原則」「棚卸減耗損」)、税務経理協会		
6. 所属学会	日本会計研究学会、日本簿記学会			
	国際会計研究学会、日本会計史学会			
7. 主な社会活動、資格、その他	公益財団法人日本自然保護協会 自然観察指導員			
	公益社団法人日本山岳協会 自然保護指導員			
TOKYO FUJI UNIVERSITY 東京富士大学				